

基本方針説明会での意見

平成29年10月7日(土)午後3時の基本方針説明会で寄せられた意見は下記のとおりです。

内	容
	<p>答申に保護者や地域住民の理解が不可欠だとありますが、私は統合に反対です。まず、他の学校でも児童数が100人程度の学校はあるのに、双峰小と唐竹小のみで話がされています。クラス替えについては、今でも1クラス35人程度で、先生方がきめ細かくしてくださっており、いじめなどの問題に対してもすぐ対応していただける、よい環境ですので、クラス替えが必要である理由にはならないと思います。さらに、子ども自身が今のままが良いと言っているのに、統合しなければならないのでしょうか。コストの問題ではないというなら、統合をする必要はないと思います。市が勝手に作ったスケジュールどおりにする必要はないと思います。</p> <p>回答:答申において、市長が統合について決めてくださいとなっています。</p> <p>35人学級については、検討委員会、保護者や先生の意見から、学校規模よりクラス人数のほうが重要であり、現状の上限40人学級より35人学級のほうが、子どもたちにきめ細かく指導ができることから、答申もそれをふまえた内容となっております。費用について、統合により唐竹小にかかる運営費が削減されるため、それを教員等の人件費に充てることにより、可能となるため基本方針にも決めました。</p> <p>統合についての最終決定は教育委員会がすることになりますが、もとは教育委員会が早期に統合すべきという意見をだしたものを、市長部局でゼロベースで検討するために各校の校長先生やPTAの代表、また地域の方が入った統合検討委員会を立ち上げて答申をまとめていただき、その答申を実現するために基本方針を定めた状況でありますので、これが覆えることは基本的にはないと考えてください。</p>
	<p>保護者の理解が得られていないと思います。統合はほかの学校でもよいのではないのでしょうか。</p> <p>回答:双峰小と唐竹小の現状を考えての統合の検討です。唐竹小の保護者の一部が特に反対されていることは、署名等をいただいていることなどからも承知しておりますが、私たちは一クラスの人数を少なくし、子どもたちにきめ細かく接することが一番重要だと判断しております。</p>
	<p>現在、クラスの人数が35人程度なので、変わらないと思いますが。</p> <p>回答:たまたま、その人数の学年もありますが、そうでない学年もあります。</p>
	<p>もともと40人学級であり、それを35人学級に譲歩したということになるとと思いますが、クラス少人数制はもともと少人数できめ細かいので、それと学校の統合はどのような関係があるのですか。</p> <p>回答:今、唐竹小はたまたま全学年35人学級ですが、人数が増えると40人学級になることもあります。統合をするとクラスの人数が増えるのではないかという心配が多かったのですが、市としては35人学級を保証していきたいと思います。学校の先生からも35人学級は継続すべきだという意見が多かったと踏まえております。</p>
	<p>他の学校で、クラス人数が20数人というところがありますが、どうしてですか。</p> <p>回答:他の学校でクラス人数が少ないところは、学年人数が40人を超えたためクラスを分けることになり、クラス人数が少なくなっています。基本は一クラス40人が上限となります。</p>

ほかの学校から導入要望があったらどうなるのですか。

回答:双峰小・唐竹小をモデル校とし、効果があれば、ほかの学校でも導入していきたいと思います。これからの子どもにとって、社会性や広い関係性を持って学ぶということも重要なのではないかという意見もいただきまして、それを基本方針にださせていたいただいております。

唐竹小は、豊明中学校に進学後も、役員などを行っていたり、学習面でも進学校に進む児童が多いので、統合する必要はないと思います。

回答:唐竹小の保護者の方から、小規模校の良いところは一人一人が活躍できる機会が多いから、中学校でも活躍することができるのご意見がありました。それは確かに小規模校のメリットですが、そのようなところを活かしながら、できる限り人間関係を広くする方法はないだろうかと考えた結果、こういった統合という結論を出しました。

人間関係については、中学校や成長してからも構築できるので、統合してまで小学校から行う必要はないと思います。子どもたちが今の学校にそのまま通いたいと言っていますので、子どもの気持ちが一番重要だと思って、行ってほしい。クラス替えがよりよい教育環境ではないと思います。

今までも統廃合の話は何回も出ていますが、行わないという意見になったのではなかったでしょうか。

回答:平成24年に、統合について、当面の間は両校の交流をしながら、小規模校のよさを残しながら関係性を広げられる対応をする、といった答申を出しています。交流については、学校を離れてクラブ活動や部活を一緒に行うなどの方針は出したのですが、現実的に難しく、今回もう一度再検討させていただきました。

先程、いじめが未然に防がれたことをお聞きして、よかったと思ったのですが、実は、女子児童が男子児童にちょっかいをかけられて、登校できなくなり、そのまま卒業してしまったということがありました。学校も頑張っており、そのようなことが起こらないように注意はしているのですが、起こってしまうことがあります。その子は6年生で、その後卒業しましたが、もし低学年であれば、難しいと思います。クラス替えはできないよりはできたほうが、子どもにとって良い環境を与えることになるのではないかと思います。できるだけ、未然に防ぐのが我々の使命ですが、そうではない場合もあるものですから、事実としてお伝えします。

それは唐竹小の話ですか。

回答:はい。ほかの学校にも問題があるように、唐竹小にもいろいろ問題はあります。学業について唐竹小の子どもが優秀な成績を修めているという話がありましたが、唐竹小が特に秀でているわけでもなく、双峰小がそうでもないわけでもなく、豊明市ではどの学校もそれほど差がある状態ではありません。

いじめが原因で統合するみたいな感じでいわれましたが、そういった話を聞いたことはありませんが。

回答:事件にならない限りは、子どもたちのプライバシーを守るため、保護者の皆様に申し上げることはありません。

いじめについては、学校を統合すれば無くなるという話ではないですよね。根本的な改革が必要なのではないでしょうか。

回答:クラス替えをすることにより、1年生から人間関係が固定化する状況を防げることは、学校の先生も指摘されておりますし、保護者の一部の方々もそれを希望されていることは確かです。

意見交換などで反対の意見が結構多かったと思うのですが。

回答:意見交換の場などでも申し上げておりましたが、今回の問題は多数決で決める問題ではないと考えております。検討委員会の委員も同じように考えておられます。

学校統廃合というデリケートな問題なのに、子ども自身の気持ちとか、保護者の心配や理解に対して、全く合意形成が図られていないと思われま。35人学級にするとか、新設校とするとかありますが、ただの吸収にしか思えません。そういった部分の合意形成とか、もう少し会話するという姿勢を市側が見せないと、絶対にうまく進まないと思います。

回答:これまで、まずは統合についてゼロベースで考えるため、統合検討委員会で検討していただいている最中は、はっきりしたお答えはしていなかったのですが、答申が出されましたので、まずはこうしたいという市長の基本方針を出させていただき、それについて、これから保護者の皆さんにご理解いただくように、十分に説明や意見交換をさせていただきたいと思。私どもも、溝があるまま統合したら絶対にうまくいかないことも分かっておりますので、そういったことがないように、まずは基本方針というベースをしっかりと説明させていただいて、一緒に歩めるような関係を築いていきたいと考えています。

いただいている文書を見ると、基本方針を踏まえて教育委員会で決定するとありますが、スケジュールはどうなっていますか。こういった場で聞いた意見をふまえた検討の余地はあるのですか。

回答:決定は教育委員会になります。ただ、先ほども申しあげたとおり、教育委員会はもともと早期に両校を統合すべきだと意見が出ていますので、基本的には統合する方向だということと考えてください。

なぜ基本的に統合する方針ということになるのでしょうか。1年間検討委員会を行ってきて、なぜそうなるのですか。

回答:最終的に尊重すべきは、第三者で立ち上げた検討委員会が出した答申だと考えています。答申を実現するために定めた基本方針は、十分検討委員会を尊重した内容だと考えております。その検討委員会の答申も、皆様から意見や署名、意見交換会の内容などを検討したうえで出されたものであります。

基本的に統合する方向だと市長は言われますが、答申では「意見交換会などを積み重ねたうえで、皆さんの理解を得て進めてください」となっており、そこが踏まえていないのではないかと思います。合意形成を図るためには、いろいろな意見、反対意見なども反映させて、どのように進めていくのかお聞きしたいと思います。また統合が、なぜこのタイミングなのかということもお聞きしたいです。

回答:流れ的に、平成27年に文科省から適正配置について早期に検討すべきという文書が出ました。それをもとに、まず教育委員会が検討をしまして、平成28年2月の総合教育会議で双峰小と唐竹小は小規模校なので、早期に統合すべきと考える、ただし、保護者や学校の皆さんの意見を聞きながら、市長の方で検討してくださいと、教育委員会から投げられました。それを受けて、平成28年6月に統合検討委員会を立ち上げ、8回の委員会を開きまして、答申を出していただいたのが、今年8月になります。その答申をもとに、9月に基本方針を出したという流れです。基本方針をすぐに出したのは、統合になるのかならないのか、子どもたちや保護者のかたに心配をかけ続けるのは良くないのではということ、また我々がこうしたいという思いをまずはお伝えしないと、話し合いが進まないのではないかとことを考え、できる限り速やかに出させていただきました。先ほどもおっしゃったように保護者の方の理解がなければ、当然統合は足元から崩れることになってしまいますので、我々としてはご理解いただけるようにいろいろ話を進めていきたいと思。私どもも、溝があるまま統合したら絶対にうまくいかないことも分かっておりますので、そういったことがないように、まずは基本方針というベースをしっかりと説明させていただいて、一緒に歩めるような関係を築いていきたいと考えています。

市長が出された基本方針の文書に、最終決定は教育委員会がすると書いてありましたので、私自身の捉え方としては、保護者の意見を聞いたうえで、教育委員会がどうするかを決定すると思っていましたが、市長は統合の方向になりますと、断定されました。すでに決定していると言われたら、意見を伝えたい、疑問に思うことを聞きたいと思っていても言っても仕方がないということになり、そこが皆さんが納得できないところだと思います。

今中学校でも小学校でも、講師の先生を探すのが大変だと聞いています。35人学級にするために市で教員を雇うと言っていますが、それだけの人材を集めることが可能なのか、将来的に持続することが出来るのか、また、ただ講師を集めればよいというわけではないということも踏まえて、統合を考えていただきたいともいます。

回答:今後、数ヶ月かけて、基本方針で出てきました11項目について、円滑に移行できるかどうかを含めて、教育委員会で判断させていただき、総合教育会議でご返信申し上げるという形になっております。今おっしゃられた教員の雇用も含めて、さらに通学区域の問題等もありますので、教育委員会の中で議論をしていきたいと考えております。

市長が、これが最終決定といわれたのはおかしいと思います。

回答:それはおっしゃるとおりです。最終的なことは教育委員会が決定するのですが、元々、教育委員会の方から早期に統合すべきという話をいただいておりますので、市長が基本方針を定めた以上、これが覆るということは考えにくいと思っています。

統合しない可能性はありますか。

回答:教育委員会が最終的に決定しますので、別の判断をする可能性はゼロではないです。統合することにより、教育環境が悪くなることはあってはならないので、しっかりと教育委員会で検討、検証をしていただくこととなります。これができない限りは、統合はできません。

統合があるかないか、子どもたちは不安がっています。統合するのであれば、今在学している子どもは今の学校名で卒業することはできないでしょうか。今の子どもたちは学校名が変わることがあるなんて思わずに入学しており、卒業直前に、新しい校名、校歌になるなんて、本人も嫌がっているし、すごく可哀想に思います。

統合には反対なのですが、統合が決定なら考えていただけないでしょうか。

回答:基本方針の中で、平成33年の4月以降に統合とあります。現在の1、2年生がおっしゃられたような状況になる予定です。このことについては、教育委員会の中で議論をしていくこととなります。

スケジュールは変わるかもしれないということですか。

回答:基本方針の11項目について、できるだけ円滑に子どもに負担がかからないように実現させるために、児童の交流の期間、施設の改修、教員の雇用など、様々な問題、課題について、情報などを分析しながら検討し結論を出すこととなりますので、時間がかかることもあると思っています。

統合について不安を持ったまま過ごすこととなりますね。

回答:どこかの学年では、6年生で統合を迎えることとなります。それならば、早うちに決定したほうがよいと思い、このようなスケジュール案を作成しました。教育委員会が統合を最終決定したら、まずは統合準備委員会で計画を作っていく形になります。その段階で、保護者の皆さまや学校関係者にお集まりいただいて、どのような形が一番ベストなのかを決めていくこととなります。

通学について、三崎小の方が双峰小より近い家もありますが、学区の見直しはしないのですか。

回答:ほかの学区でも、より近い学校があるのに、遠い学校に行っている児童がいます。学区は、学校のキャパシティや、地域の特性を踏まえて決まっていますが、今の三崎小は、放課後子ども教室がなく、それを設置するには教室数が足りていない状態です。そういった状態で、一部の地域の児童を三崎小に編入するのは難しいと判断しております。

通学について、公共交通機関を利用する方法もあるということですが、その費用はどうなりますか。

回答:市が負担することになります。この地域はもともと名鉄バスが走っており、バス停は双峰小から100メートルと離れていないところにありますので、保護者の方々が同意した場合、バスを使ってもらっても構わないのかなと思っています。

帰宅はどうなりますか。低学年の子は一人でバスに乗るのですか。

回答:帰宅時間にもバスはありますので、保護者の皆さんと相談して、何人かのグループで帰る形になると思います。

朝の非常に混雑した名鉄バスに、通勤通学の大人と一緒に、スクールバスを用意せずに乗せるということですね。公共交通機関の利用は期待していますが、スクールバスも含めて検討していただけますか。

回答:バスは、子どもたちの登校時間を過ぎた後で混み出しているようです。スクールバスの検討はさせていただきますが、現状通学路で2キロを超えている地域はたくさんあります。そこにすべてスクールバスを導入できるかという、それだけのバスを安全に運行する責任を市の方で持てる自信はありません。そういったことを考えれば、現在安全に運行してもらっている既存の名鉄バスを利用したほうがいいのではないかと、今は考えております。通学の問題は、保護者の方が一番心配をされてるのところなので、意見交換を深めていかなければいけないと考えています。

徒歩で通学する子どもたちは、朝は分団ですが、帰りには先生が近くまでついてきていただけるのですか。

回答:先生は、時々はついて行きますが、基本はついていっていません。スクールガードとか見守り隊というボランティアのサポートがあり、先生たちがついていくことはしていません。

通学距離が長くなると、不安が出てくるのですが。

回答:通学路が決まってから、状況を見て、どうしたら安心安全に通えることができるのかを考えていきます。

教育委員会で統合についての最終決定はいつごろ出るのですか。

回答:教育委員会としては、この年度内をめどに、最終的な決定をしたいと言っておりましたが、検討課題などが多数生じた場合には、それより後になる可能性はあります。

教育委員会で35人学級も検討されると思いますが、それが不可能となった場合、どうなりますか。

回答:教育委員会に確認をした上で、この部分は決めているので不可能ということはないです。

35人学級はその後も継続し続けることはできますか。もし豊明市の財政が厳しくなった時点で、できないからやめますということになったりはしませんか。

回答:統合すれば学校運営費が軽減されることになり、その分は教員の人件費にかける形に考えておりますので、継続することができます。これは教育委員会が決定する事項なので、選挙で市長が変わっても変わることはありません。

学校跡地として活用するのに、どれだけのお金がかかりますか。唐竹小の維持費を人件費に回すとおっしゃいましたが、その費用はどうなりますか。またほかの学校から文句が出たりしませんか。

回答:費用は試算しましたが、それほどかかりません。この学校はモデル校になりますので、この学校で有効な事業だとなったら、ほかの学校にも導入していきます。
跡地は有効に活用します。地域の皆さんからご意見をいただき、考えていきたいと思います。子育て支援センターのような施設、児童館のより大きな施設なども可能だと考えています。教室を利用することになるので、お金がかかる心配もしていません。

双峰小を新設校として利用するとのことですが、現在余っている教室をいろいろなことに活用していますが、児童クラブなどはどうなりますか。

回答:児童クラブは移動することはありません。二村会館は、児童数が試算以上に増えることがあれば、地域の皆さんと話し合うことになるかもしれません。

基本方針について、35人学級をするということは、大変難しいことだと思いますが、それにチャレンジしていただくということは、市長が教育に力を入れていることが理解できます。ただそれを理解するためには、もう少し説明が必要だと思います。このままでいけば統合決定になるとのことですが、この状況で行うことはうまくいかないと思います。保護者に対して、説明できるだけの材料をそろえていただきたい。そもそもなぜ統合検討が始まったのかをご存知の方は少ないと思います。校舎にしても、どちらの学校を使うか決まっていなかったのに、1か月で双峰小に決定してしまうようなことがあると、何を聞いても本当なのかウソなのか疑ってしまうことになるため、包み隠さず情報提供をしてほしいと思います。学校を一つ残したために豊明市の財政が苦しくなると言われれば、みんな理解できないと言わないと思います。こういったことをうまく説明していただきたいと思います。感情論になってしまい、行政と保護者がけんかをしていてもよい学校はできないので、わだかまりを解消したい気持ちがあります。保護者の方にもう少しきちんと説明をしていただければ、協力できることが出てくると思います。

これから、教育委員会に移るようですが、もとはといえば、教育委員会で何の説明もなく進んでいたことがわだかまりとなりましたので、教育長はできることできないことを、頑張って本音で伝えてほしいと思います。また、教育委員会には保護者との意見交換会を行ったり、子どもに意見も聞くことを、頑張っていただきたいと思っています。そうしないと、よい学校を作ろうと思っても、とんでもないことになるので、努力していただくことをこの場で約束していただきたいと思っています。

回答:どちらの学校になるかは本当に決まってませんでした。唐竹小の方が新しいので、教室数が足りていれば、唐竹小がいいと考えておりましたが、35人学級や日本語取り出し授業を考えると、かなりの数の教室が必要であり、唐竹小では運営できないことが分かりましたので、双峰小にすると判断しました。

今後、教育委員とも相談していくこととなりますが、いじめのない、心のケアもできるよい学校を作るため、できるだけ努力をしていきたいと思っています。そのため、意見交換などで、いろいろなご意見をいただきたいと思っています。

公共施設の再編の一環ではないかという思いましたが、そうではないということで、分かりました。意見交換会について、平日の開催は参加できないので、こういう場で意見を聞いていただきたいという願いです。

学校が終わった後の子どもたちの行動範囲が広がってしまうので、交通安全とか、防犯についても教育委員会の方は現状を知ってもらいたいなと思います。もちろん親の目でも見守りますが、四六時中というわけにはいかないなので、そういったことも検討して欲しいと思います。

この基本方針は、これまで聞いていただいた保護者の意見が反映されていると思えません。意見を聞き流すのではなくちゃんと聞いてしっかり反映していただき、保護者にもそれがわかるようにしていただかないと合意形成されないと思うので、今までの市のやり方を改めていただかないと、このままでは平行線の状況が続くと思います。

今日の時点で、統合することはほぼ決定と伺って、かなり不満、不安なんですけど、子どもはもっと不安だと思うんです。また統合で不安を抱える子どもも増えるだろうし、トラブルも増えることがあると思うんですけど、それに対応できる先生を、雇っていただけるかということをお伺いしたいのですけれど。

回答: 検討委員会でも話がありましたが、統合してからしばらく、臨床心理学などの専門家を入れる形を検討しております。現在でも、スクールカウンセラーなど資格を持っているものが小学校に頻繁に行かせていただいております。

基本方針説明会での意見

平成29年10月7日(土)午後6時の基本方針説明会で寄せられた意見は下記のとおりです。

内 容
<p>学区の見直しはしないようですが、理由は何ですか。</p> <p>回答:近隣の大宮小や三崎小ですが、大宮小は放課後子ども教室が無く、全学年が2クラスになるので、教室が足りていません。三崎小は現在、教室数は足りていますが、放課後子ども教室がありません。三崎小の学区を広げて児童数が増えると、教室数が足りなくなるので三崎小学校の学区を広げることは難しい状態にあります。双峰小学校までの通学距離は1.5キロ以内に収まりますので、通学距離的には問題ないと考えております。</p>
<p>全国でも学校統合があると思いますが、別の学校の児童が統合されたときに出てくるデメリットはありますか。</p> <p>回答:全国は把握していませんが、愛知県では、春日井と名古屋市で最近統合を実施しており、春日井市では事前に交流等を行い、保護者の意見も取り入れてますので、学校が統合した後は、友達が増えてよかったとかの意見がほとんどで、もめたということはないそうです。ただ、通学距離が延びたり、学校ごとのルールの違いに慣れるのに時間がかかるなどあるそうです。学習面においても問題はなく、いじめとか争いもなく、春日井市も名古屋市も、友達が増えてよかったという意見が占めているそうです。</p>
<p>統合をした場合、どちらの小学校の先生がメインとして配置されますか。これまで係わっていた先生の方が、学校の特性も分かるし、子どもも親も安心できます。</p> <p>回答:現在の先生がそのまま配置されるかというお話ですが、県教育委員会に事情を話し、できるかぎりそうしたいと思っておりますが、校長、教頭、校務主任、教務主任は各校に一人ですので、難しいです。子どものケアのため、スクールカウンセラーを常駐させたりして、できるだけ子どもの精神的負担にならないような、体制をとっていきたいと思います。</p>
<p>両校の交流は、具体的に何か決まっていますか。</p> <p>回答:具体的に何をするかは、統合準備委員会で決めることとなります。今想定しているのは、運動会をいきなり一緒に行うとかは難しいですが、例えば遠足を一緒に行くとか、サッカー大会を一緒に行うとかです。</p> <p>具体的な案はないけど、オリエンテーショナルなことを一緒にを行うということですね。</p> <p>回答:学校の運営上の問題や、授業との兼ね合いがありますが、統合が決定しましたら、統合準備委員会で、どうすれば子どもたちに負担がかからずに統合できるかということ、1年間かけて検討していきたいと考えます。</p>
<p>開校の時期が平成33年4月以降となっていますが、年度途中での統合とかはあるのでしょうか。</p> <p>回答:教員の異動の問題もありますので、ありません。</p>

目安として33年4月であって、間に合わなければ1年後に延期されるということでしょうか。

回答:大規模な施設改修や、課題に対しての検討により、間に合わなくなれば延期する可能性もあります。

施設について、児童数が増えると、クラス数は足りていても施設の改修が必要になるのでしょうか。

回答:教室は足りていますが、別の目的に転用している教室などの移設が必要となります。
また、通学距離を少なくするために、主要道路沿いに通用門を設置することなどを考えています。

県の基準を超えた部分を市が費用負担するとはどういうことですか。

回答:学校の先生は愛知県で雇われている、県の職員です。県ではクラス人数は40人と決められているため、豊明市での政策で35人学級としてクラス数が増えた場合は、増えたクラスの先生分を豊明市が費用負担することになります。

費用は、今、唐竹小にかかっている費用で賄うということですか。

回答:プールの水道代や光熱水費など、唐竹小を維持するためにかかっていたお金で、賄います。

各学校の必要経費が、学校によってかなりばらつきがあるのですが。

回答:校舎数などの学校規模により差は生じます。

唐竹小の維持費を人件費に回すということですが、残った建物にも維持費や改修費がかかってくると思いますが大丈夫でしょうか。

回答:建物は、市内の公共施設を集約したいと考えています。そうすると元の施設の施設運営費がかからなくなりますので、そちらに回すことができます。今の教室のまま使える施設にしたいと考えておりますが、子育て関連施設や、地域の方の要望の高い施設を集約したいと思います。校内の各設備も使えるものですので、子どもたちが優先的に使えるように、有効的に活用していきたいと考えます。

唐竹小跡地が、子育て世代や介護にかかわる人が生き生きと活動できる施設になればいいと思います。また外国籍の子が多いので、日本語教育の先生も、しっかりした指導のできる人を雇ってほしいです。トラブルになったときに解決の橋渡しのできる人が望ましいです。

回答:豊明市は、通訳やNPO法人、愛知教育大学など様々な方のご協力をいただき、他市に比べて外国籍児童の日本語教育はリードしています。これからも様々な施策を行い、さらに充実させてまいります。

通学距離があっても子どもたちが通いたいと思える学校づくりを目指してくださるというのはわかりました。唐竹小にかかわった人が、唐竹小はなくなったが市のために役立つ施設になった、と思える誇りに思える施設を造ってほしいと思っています。

統合して、今の唐竹小より外国籍の子どもの割合が増えることにより、運動能力、学力などで、他校と差が出ることになりませんか。

回答:そういった差が感じられることはあまりないと思います。小学生ですと、能力レベルは遜色ないと感じました。学力面は、外国籍の子どもで日本語が不十分なうちは苦勞している子もいましたが、日本語が分かれば問題がなくなる子がほとんどです。

33年に統合予定ということですが、それまで各学校に在籍する児童がいますが、体操服や帽子などの持ち物に、前の学校のマークなどがついたままでは、あまりよくないのではないのでしょうか。

回答:ご家庭に負担がかからないようにすることを前提として、教育委員会で検討してきます。

統合を計画のとおり進めるとして、今後、保護者や地域の方からの質問とかを受ける場を設ける予定はありますか。

回答:学校の方は、教育委員会で意見交換させていただくこととなります。別立てで、施設を有効的に活用するために、地域の人たちに意見を頂戴していくこととなります。教育委員会では市長の基本方針が円滑にうまくいくか判断・検証し、説明やご理解いただくことを考えています。

通学区域と通う学校を希望することはできないのですか。

回答:豊明市は、選択制がなく、学区で決まった学校に通うことになっています。選択制にすると学年人数の把握が難しいことから、教室や教師の配置が困難になりますので、難しいです。

新設校を開校する前に、希望の学校に入学させることはできないのですか。希望したいです。

回答:難しいです。ほかの学校にも多大な影響が出てしまうので、極端に学校が遠い児童とかについては検討しますが、最終的には第三者委員会で検討することになりますので、そういった希望があったことは、必ずお伝えすることをお約束します。

現状では、唐竹小学区で三崎小の方が近い児童が100人ぐらいいますが、三崎小のキャパ上、その児童が全員三崎小に行くことはできません。

唐竹小の新1年生は、最初から双峰小に入学することはできませんか。途中で変わるより、子どもの負担は少ないと思いますが。

回答:教育面から考えて、難しいです。唐竹小の児童が減っていくことになります。

また、通学の面でも、高学年が低学年と一緒に通学団で学校に通っているのでも、低学年だけでは安全が保障できません。子どもの負担は、交流で馴染んでいけるようにしたいと思います。

通学経路が変わると思いますので、横断歩道や信号など、安全面についても考えてほしいと思います。

回答:必ず検討しなければいけないことだと思っています。

多感な年ごろに統合をすることが心配なので、精神的なケアについて、どういったことを想定していますか。

回答:臨床心理学の先生からも、高学年女子になると、友達との関係づくりが負担が大きくなるということをお聞きしております。そういったことを専門家の先生にもご意見を伺いながら、心のケアについて対応していきたいと考えています。現在も制度はありますが、スクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカーを、統合後しばらくは学校に常駐させたいと考えています。

伝統的な行事は具体的にはどんなものですか。

回答:唐竹小学校の太鼓や、学校独自のクラブ活動などを、継承させていきたいです。

10番の中長期計画で、新たな統廃合の検討は行わないとは、今後少子化が進んでいったとしても、さらなる統合の検討はしないということですか。

回答:今後30年間は、人口推計では2クラス以上は維持される状態です。

特別支援が必要な児童について、現在一人に一人ぐらい教員がついてくれているような感じですが、統合するとどうなりますか。

回答:特別支援員の先生をお願いし、負担が増えないようにしていくことを検討します。

学校によりコストの差がありますが、学校規模はそれほど差はないと思いますが。

回答:三崎小は国有地ですので、その分コストがかかっております。